

令和6年度 2年次編入学生用 履修のてびき

教育学部 教育学科 小学校教育コース

I 卒業要件について

- 1 編入学後の修業年限は3年である。3年間で所定の単位を修得できない場合は、年限を延長することができる。ただし、編入学後の在学年数は、休学期間を除いて6年を超えることはできない。
- 2 本学では授業科目を共通教育科目、基礎教育科目及び専門教育科目の3つに区分しており、定められた履修方法に従って単位を修得し、この3区分を通して、2年次編入学生は、編入学時に認定された単位を含めて、124単位以上を修得しなければならない。また、本学科では科目区分ごとに修得すべき最低単位数を設定している。

| 卒業単位数 | 科目区分 | 単位数 | 特記事項 |
|---------|--------|--------|---|
| 124単位以上 | 共通教育科目 | 12単位以上 | 1 共通教育科目は、『基礎教養科目群』の中の「自然科学科目」から2単位以上を含み、『基礎教養科目群』から合計8単位以上、『言語・情報科目群』から「データリテラシー・AIの基礎」（2単位・必修）を含めて修得すること。 2 下に掲げる表の外国語科目から合計8単位以上を含めて修得すること。 |
| | 基礎教育科目 | 81単位以上 | |
| | 専門教育科目 | | |

外国語科目に関する卒業要件

| 卒業単位数 | 科目区分 | 科目名 | 単位数 | 備考 | |
|---------|-----------|---------------------|-------|------|------|
| 8単位以上 | 共通教育科目 | 言語・情報科目群（言語リテラシー科目） | 科目による | 選択 | |
| | 基礎教育科目 | 英語 I | | 2 | 選択 |
| | | 英語 II | | 2 | 選択 |
| | | TOEIC認定英語 I～IV | | 各2 | 単位認定 |
| | | 外国語コミュニケーション I | | 1 | 選択 |
| | | 外国語コミュニケーション II | | 1 | 選択 |
| | 専門教育科目 | 外国語科内容論 | | 1 | 必修 |
| | | 外国語科教育法 | | 2 | 必修 |
| | | 英語文学入門 | | 2 | 選択必修 |
| | | 英語児童文学 | | 2 | 選択必修 |
| | | 時事問題と英語表現 | | 2 | 選択必修 |
| 英語文法論 I | | | 2 | 選択必修 | |
| | 教室で使う英語表現 | | 1 | 選択必修 | |

- (注) 1. 学校図書館司書教諭課程科目、図書館司書課程科目の単位を修得した場合、合計で上限20単位まで卒業に必要な単位数に含める。
2. 他大学との単位互換協定に基づき、西宮市大学交流センターにおいて単位を修得した場合、その単位は共通教育科目の単位として認定される。
3. 基礎教育科目・専門教育科目の81単位の中には、卒業までに修得すべき科目や修得すべき単位数が指定されている。各コースの「必修」欄に従うこと。

II 履修要項について

- 1 令和6年度に2年次編入学した学生に対して適用されるカリキュラムは令和5年度教育学科入学生に適用する履修要項を基本とし、1年次開講科目は選択科目とする。
- 2 令和5年度教育学科入学生に対して1年次に開講された科目については、同一科目が現在も開講されている場合、すべて選択科目として履修でき、合格すれば単位として認定される。ただし、編入学時に個別に読み替えて単位認定されている科目は履修できない。資格取得に必要な科目などを考慮して、バランスよく履修すること。
- 3 免許・資格の取得については、「令和5年度入学生履修便覧」教育学部教育学科 (p.28～62) を参照すること。

III 教職課程について

入学前既修得単位として単位認定された科目のうち、教員免許状申請に使用できる科目については、評価及び成績通知書に「教認」と表示される。